

パースで読者モデルが体験 動物と一緒に セルフィー

スマートフォンなどで「自撮り」や「自分撮り写真」の“セルフィー”が、世界的な流行になっています。その背景として、スマートフォンのカメラ機能の向上の影響が大きく、さらにその写真を共有できるソーシャル・ネットワーキング・サービスの台頭により、セルフィー・ブームが後押しされました。中でも、自分とペットや動物などとの2ショットでのセルフィーが人気のようです。

そして、その動物の1つで、オーストラリアのパース近郊に浮かぶロットネスト島に生息するクオッカとのセルフィーも世界で脚光を浴びています。そのクオッカは、笑っているような愛らしい顔から『世界一幸せな動物』と言うニックネームが与えられました。そこで、今号特集では本誌読者モデルのお2人に協力してもらい、実際にクオッカやオーストラリアで人気の動物たちとセルフィーを体験してもらいました。

注) 動物の中には絶滅の危機に瀕しているものもいますので、撮影の時には動物との接し方に十分な留意が必要です。

※今回紹介するセルフィーの撮影方法は、弊社独自の基準で紹介しています。

※掲載した写真は一例で、スマートフォンのApple社のiPhone 4SとLGエレクトロニクス社のLG Optimus L9を使用して撮影しています。自身で使用するスマートフォンの種類や設定状況、また撮影される周辺状況などによって撮影される写真は本誌で紹介した写真とは異なる場合がございます。

※スマートフォンの詳しい機能設定方法については、付帯されていた説明書をご確認ください。

世界的な流行を見せる “セルフィー”について

ここでは、「セルフィーとは？」から「あのままでセルフィー?!」といったセルフィーのあれこれを紹介します。

なぜセルフィーが人気?

このセルフィーの人気の火付け役となったのは、写真を共有できるサイト「Flickr」や「MySpace」、「Instagram」などのソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)にもあると考えられています。その昔、セルフポートレートは存在していましたが、共有する習慣はありませんでした。キャンパス地に描いた油絵から写真撮影用のフィルムへ、そしてデジタルメディアへとフォーマットが変化していく中、共有の媒体、つまりSNSの発達によってセルフィーが人気となりました。もちろん、スマートフォンの撮影技術が向上したのも一助です。特に、内蔵された内側のカメラのお陰で、自分自身の姿をセルフィーという形でプロデュースして、SNSでのシェアを実現させました。

セルフィーとは?

Selfie (Selfyとも書く、複数形はselfies)とは、自分で自分の写真を撮影することで、日本語では「自撮り」や「自分撮り写真」とも言われています。使用するカメラは、スマートフォンやウェブカメラなどとなっています。

英オックスフォード辞典の “今年の言葉 2013”に選ばれる!

2013年の11月に英オックスフォード辞典が発表する「今年の言葉 2013」に“selfie”が選ばれました。英オックスフォード辞典が、この1年間に大きな関心を集めている単語や表現を集めたもので、編集者や言語研究者は毎月インターネット上に飛び交う1億5千万語もの英単語を収集して分析しました。その結果、英単語の“selfie”が昨年より17,000%増と驚異的に使われ始めていたことが選出の理由です。当辞典への“selfie”の掲載は、2013年の8月からとなっています。

オーストラリア人が最初?

英オックスフォード辞典の調査によると、『2002年9月13日、オーストラリアの男性が友人と一緒にお酒を飲み泥酔して階段から転落し、顔から着地。唇の下に1cm程の穴が開いてしまうケガを負って、その傷の写真を自分で撮影し「ピントが合っていないでごめんね。“セルフィー”で撮ったから」とインターネットに投稿した』のが最初とされています。

世界でセルフィー!

セルフィーは、世界中の著名人の間でも流行しています。世界の要人も公共の場でセルフィーを撮影したり、米オバマ大統領も健康保険のPR動画内で、暇な時間にセルフィー棒を使ってセルフィーを撮影する姿が映し出されています。また、宇宙飛行士も地球を背景にセルフィーを撮影したり、有名俳優たちもセルフィーを楽しんでいます。

取材協力 : Caversham Wildlife Park / ROTTNEST EXPRESS

情報参照元 : Caversham Wildlife Park (www.cavershamwildlife.com.au) / Government of Western Australia, Department of Parks and Wildlife (www.dpaw.wa.gov.au) / International Union for Conservation of Nature (www.iucn.org) / 世界自然保護基金ジャパン (www.wwf.or.jp) <アルファベット順>

資料 : Oxford Dictionaries (http://global.oup.com)